

2026年10月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーバンライク
 コード番号 2992 URL <https://www.urban-like.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理本部長 (氏名) 加藤 博司
 兼総務経理部長
 中間発行者情報提出予定日 2026年7月30日 配当支払開始予定日 ー
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

TEL 092-791-4446

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期中間期の連結業績 (2025年11月1日～2026年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	2,816	—	154	—	135	—	75	—
2025年10月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—
(注) 包括利益	2026年10月期中間期		75百万円(—%)		2025年10月期中間期		—百万円(—%)	

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	349.92	336.41
2025年10月期中間期	—	—

(注) 2026年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年10月期中間期の数値および対前年中間期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	4,156	909	21.9
2025年10月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 909百万円 2025年10月期 ー百万円

(注) 2026年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年10月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	0.00	0.00	0.00
2026年10月期	0.00		
2026年10月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,910	—	251	—	214	—	123	—	568.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)株式会社クラフト、除外 1社(社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年10月期中間期	216,500株	2025年10月期	216,500株
② 期末自己株式数	2026年10月期中間期	1株	2025年10月期	1株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年10月期中間期	216,500株	2025年10月期中間期	216,500株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想のご利用にあたっての注意事項については、中間決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(追加情報)	10

1. 経営成績等の概況

当社は当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しております。そのため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられ、緩やかな景気回復の基調にあるものの、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりや米国の通商政策、日本銀行の金融政策の変更に伴う金利動向により個人消費に与える影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の主要事業が属する建築業界におきましては、建築資材価格の高止まりや人件費等の労務コストの上昇が長期化していることに加え、将来的な市場金利の先高観から消費者の購買行動に慎重な姿勢が見られ、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、2025年12月に株式会社クラフトの発行済み株式の全てを取得し連結子会社化いたしました。未参入のリフォーム事業に進出し、沖縄における住宅、リゾート関連事業とのシナジーの実現に向けて取り組んでおります。ライフクリエイト事業においては、多様化するお客様のニーズを捉えた提案力の強化や、さらなる業務効率化による生産性向上に注力し、受注の確保に努めました。新たな収益の柱である障がい者グループホーム施設の販売についても引き続き注力し、事業基盤の拡大を図っております。さらに、多様な顧客層へ効果的にアプローチするため、ホームページの活用やSNSを通じたデジタルマーケティングによる集客力強化にも継続して取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,816,623千円、営業利益は154,803千円、経常利益は135,776千円、親会社株主に帰属する中間純利益は75,757千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分および名称を変更しております。詳細につきましては、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

① ライフクリエイト事業

ライフクリエイト事業におきましては、継続して取り組んでおります提案力および生産性の向上を目的とした各種研修の成果が発現し、複数の販売拠点で好調に推移いたしました。連結子会社となった株式会社クラフトを範囲に含めたことも、当セグメントの売上高および利益の押し上げに寄与し、業績全体を牽引いたしました。この結果、ライフクリエイト事業の売上高は2,039,059千円、セグメント利益は156,964千円となりました。

② リゾート&アセット事業

リゾート&アセット事業におきましては、宅地分譲や不動産仲介に加え、リゾートヴィラ物件の販売に注力してまいりました。当該物件の販売が堅調に推移したことで、前年同期と比較して業績は大幅な改善を果たしました。この結果、リゾート&アセット事業の売上高は511,970千円、セグメント利益は81,021千円となりました。

③ ソーシャルインフラ事業

ソーシャルインフラ事業におきましては、主軸である障がい者グループホーム施設の建築および販売に向け、引き続き投資家向け物件サイトへの掲載等を通じた多角的な販売促進活動を展開してまいりました。一部物件において販売時期の遅れが生じ販売件数は前年同期を下回る結果となりましたが、提案力の強化等を通じた売上総利益の向上にも努め、着実な収益確保に至っております。この結果、ソーシャルインフラ事業の売上高は265,593千円、セグメント利益は63,056千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、3,610,071千円となりました。主な内訳は、販売用不動産が2,463,346千円、現金及び預金が489,105千円、完成工事未収入金が349,684千円であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、546,528千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が255,719千円、投資その他の資産のその他が202,491千円、のれんが77,439千円であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、2,144,511千円となりました。主な内訳は、短期借入金が1,049,990千円、工事未払金が366,446千円、1年内償還予定の社債が210,000千円、1年内返済予定の長期借入金が205,829千円であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、1,102,895千円となりました。主な内訳は、長期借入金が1,003,105千円、社債が40,000千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、909,193千円となりました。主な内訳は、利益剰余金が710,089千円、資本剰余金109,090千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は467,105千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は300,859千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益141,157千円があった一方で、棚卸資産の増加額384,372千円、仕入債務の減少額44,748千円、未成工事受入金の減少額41,855千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は134,349千円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入28,703千円があった一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出109,403千円、有形固定資産の取得による支出56,844千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は465,798千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出132,526千円、短期借入金の純増減額の減少90,330千円があった一方で、長期借入れによる収入640,500千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年10月期中間決算より連結決算に移行しております。

2026年10月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「連結決算開始に伴う通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

		当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		489,105
受取手形		4,535
完成工事未収入金		349,684
販売用不動産		2,463,346
未成工事支出金		14,177
仕掛販売用不動産		186,698
原材料及び貯蔵品		177
その他		103,427
貸倒引当金		△1,081
流動資産合計		3,610,071
固定資産		
有形固定資産		255,719
無形固定資産		
のれん		77,439
その他		15,067
無形固定資産合計		92,507
投資その他の資産		
その他		202,491
貸倒引当金		△4,189
投資その他の資産合計		198,301
固定資産合計		546,528
資産合計		4,156,600

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(2026年4月30日)

負債の部	
流動負債	
工事未払金	366,446
短期借入金	1,049,990
1年内償還予定の社債	210,000
1年内返済予定の長期借入金	205,829
未払法人税等	65,312
未成工事受入金	98,342
賞与引当金	28,699
完成工事補償引当金	5,867
その他	114,023
流動負債合計	2,144,511
固定負債	
社債	40,000
長期借入金	1,003,105
退職給付引当金	17,370
役員退職慰労引当金	26,700
資産除去債務	12,217
その他	3,502
固定負債合計	1,102,895
負債合計	3,247,406
純資産の部	
株主資本	
資本金	90,000
資本剰余金	109,090
利益剰余金	710,089
株主資本合計	909,179
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	14
その他の包括利益累計額合計	14
純資産合計	909,193
負債純資産合計	4,156,600

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
売上高	2,816,623
売上原価	2,258,885
売上総利益	557,738
販売費及び一般管理費	402,934
営業利益	154,803
営業外収益	
受取利息及び配当金	569
不動産取得税還付金	1,093
その他	2,422
営業外収益合計	4,085
営業外費用	
支払利息	21,497
社債利息	509
その他	1,104
営業外費用合計	23,111
経常利益	135,776
特別利益	
違約金収入	9,732
特別利益合計	9,732
特別損失	
固定資産売却損	4,352
特別損失合計	4,352
税金等調整前中間純利益	141,157
法人税等	65,399
中間純利益	75,757
親会社株主に帰属する中間純利益	75,757

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(自 2025年11月1日
至 2026年4月30日)

中間純利益	75,757
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	14
その他の包括利益合計	14
中間包括利益	75,772
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	75,772

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	141,157
減価償却費	10,686
のれん償却額	5,531
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,759
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,046
受取利息及び受取配当金	△569
支払利息及び社債利息	22,006
有形固定資産売却損	4,352
違約金収入	△9,732
売上債権の増減額(△は増加)	△21,114
棚卸資産の増減額(△は増加)	△384,372
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,748
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△41,855
その他	35,888
小計	△274,963
利息及び配当金の受取額	568
利息の支払額	△21,211
法人税等の支払額	△5,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	△300,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△56,844
有形固定資産の売却による収入	28,703
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△109,403
その他	3,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,330
長期借入れによる収入	640,500
長期借入金の返済による支出	△132,526
社債の発行による収入	48,895
その他	△740
財務活動によるキャッシュ・フロー	465,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,589
現金及び現金同等物の期首残高	436,516
現金及び現金同等物の中間期末残高	467,105

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当中間連結会計期間より、株式会社クラフトの全株式を取得し完全子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めており、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しております。

なお、同社のみなし取得日を2025年12月31日としているため、当中間連結会計期間の中間連結損益計算書には、2026年1月1日から2026年4月30日までの同社の業績を含めております。

また、前中間会計期間は中間連結財務諸表を作成していないため、前中間連結会計期間の数値およびこれに係る対前中間連結会計期間増減率については記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当中間連結会計期間（自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	ライフクリ エイト事業	リゾート& アセット事 業	ソーシャル インフラ事 業	計		
売上高						
一時点で移転される財	568,059	140,760	199,007	907,827	—	907,827
一定の期間にわたり移転される財	1,470,400	370,061	47,709	1,888,171	—	1,888,171
顧客との契約から生じる収益	2,038,459	510,822	246,717	2,795,999	—	2,795,999
その他の収益	600	1,148	18,876	20,624	—	20,624
外部顧客への売上高	2,039,059	511,970	265,593	2,816,623	—	2,816,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,039,059	511,970	265,593	2,816,623	—	2,816,623
セグメント利益	156,964	81,021	63,056	301,042	△146,239	154,803

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,239千円は各事業セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「その他」に含めていた「宿泊事業」を「不動産事業」の区分に変更しております。

また、「住宅事業」「不動産事業」「福祉関連施設事業」としていた報告セグメントの名称を「ライフクリエイティブ事業」「リゾート&アセット事業」「ソーシャルインフラ事業」に変更しております。

(追加情報)

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当中間連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社クラフト

2. 持分法の適用の範囲に関する事項

持分法を適用した関連会社はありません。